

2009年6月

お得意先様 各位

オリエンタル酵母工業株式会社
バイオ事業本部 ライフサイエンス部



実験動物用飼料サービスデータの書式変更ならびに亜硝酸根およびクロム分析の廃止について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社がご報告しております実験動物用飼料のサービスデータ（一般成分、コンタミナント、微生物検査）につきまして、この度その書式を変更いたしますとともに、併せて亜硝酸根ならびにクロムの分析を廃止することいたしましたので謹んでご案内申し上げます。

今後もより信頼いただける製品ならびにその供給体制作りに努めてまいりますので、引き続き弊社製品をご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 変更内容

①サービスデータについて

これまで弊社では、実験動物用飼料の一般成分、コンタミナント分析や微生物検査の結果につきまして、同月製造分をまとめてご報告しておりましたが、コンタミナント分析結果は別途ユーロフィン社からの報告書をご案内していることに加え、従来の書式ではすべての結果が揃ってからの発行となるため時間を要しており、お客様各位からそれらの改善についてご要望いただいております。つきましては、今後以下の通り書式を変更させていただきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

従来：一般成分、コンタミナント、微生物検査の結果を同月製造品まとめて報告



今後：品目ごとに一般成分および微生物検査の結果を随時報告。コンタミナントについては、ユーロフィン社からの報告書のみ

②亜硝酸根の分析廃止について

亜硝酸は魚粉等に多く含まれるアミンと生体内（特に胃内）で反応してニトロソアミンを生成することが明らかにされていたことに加え、実験動物飼料協会が国内のGLP対応を目的としてコンタミ

ナント分析項目案の検討を始めた 1979 年当時はニトロソアミン類の分析方法が確立されておらず、特殊な分析装置が必要な上に分析値の変動も大きく、定常的に分析を行なうことが困難でありました。以上の事情から、弊社ではニトロソアミン分析の代わりとして、その前駆物質である亜硝酸についての分析を開始したという経緯がございます。

一方弊社では、ニトロソアミン類としてすでにジメチルアミンとジエチルアミンを分析していることに加え、過去の蓄積データからニトロソアミン類と亜硝酸根の分析値は相関性がないことが判明しており、現在では亜硝酸根を測定する意義はほとんどないと考え、このたび分析を廃止することと決定いたしました。

③クロムの分析廃止について

過去にミートミールを飼料原料として使用していたため、クロム汚染の指標の一つとして分析を開始したという経緯がございます。

一方弊社では、現在ミートミールを一切使用しておらず、クロムを測定する意義はほとんどないと考え、このたび分析を廃止することと決定いたしました。

なお、実験動物用飼料のコンタミネントに関する EPA のガイドラインにもクロムは分析項目に含まれておりません。

2. 対象品目

- ・全 Certified Diet (MF・MF 粉末、CRF-1・CRF-1 粉末、CR-LPF・CR-LPF 粉末、RC4、LRC4、DS-A、PS)
 - ・*Certified Diet 以外の飼料 (NMF、CMF、ORC4、GOC4、CS-A、AS、SPS、MP、TC-1、TC-2、NIH)
- ※ 年1～12回の分析

3. 変更実施日

2009 年 8 月製造ロットより変更いたします。

4. 添付資料： 計 2 部

上記 1 - ①に関するサービスデータの従来書式および新書式例

以上

分 析 結 果 報 告 書

No. 09G01-005
(全 3 頁の 1)

殿

〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港 8-2
オリエンタル酵母工業株式会社
千葉工場 品質管理室

検 体： 2009年4月分

実 施 方 法： 社内分析規格

報告年月日	2009-5-25
阿部 公二	
責 任 者	

単位 (%)

検 体	検 査 項 目	水 分	粗蛋白質	粗脂肪	粗灰分	粗繊維	可溶性無窒素物
MF・MF粉末	Lot 090416	8.0	23.1	5.0	5.7	2.8	55.4
NMF	090423	7.0	27.5	4.4	7.3	4.2	49.6
CMF	090401	8.4	27.5	8.0	6.2	3.3	46.6
CRF-1・CRF-1粉末	090407	8.4	21.9	5.1	6.2	2.8	55.6
CR-LPF・CR-LPF粉末	090407	8.8	16.8	3.9	5.8	4.4	60.3
RC4	090422	9.1	22.3	2.9	8.7	14.2	42.8
LRC4	090410	8.5	18.7	3.4	8.2	15.2	46.0
ORC4	090428	8.3	19.5	2.5	9.1	15.3	45.3
GOC4	090416	7.8	20.2	2.6	10.2	17.7	41.5
DS-A	090422	9.1	24.2	7.7	6.7	4.0	48.3
AS	090414	9.2	26.5	8.2	7.3	1.8	47.0
PS	090403	9.2	21.4	8.0	7.3	2.9	51.2
MP	090427	8.5	15.7	5.1	12.4	10.3	48.0
TC-1	090406	7.4	21.2	10.0	7.6	2.2	51.6
以下余白							

記 事	<p>本報告書は、決められた分析順序に従って分析試験し、その結果を転記したものです。2009.5.25 弊社千葉工場管理目標値に照らし、異常なしと判定いたします。</p> <p style="text-align: right;">QAU 田宮知則</p> <p>分析結果報告書に関する問い合わせはバイオ事業本部ライフサイエンス部(TEL 03-3968-1192)へお願い致します。</p>
--------	--

分 析 結 果 報 告 書

No. 09G01-005

(全 3 頁の 2)

〒261-0002

千葉県千葉市美浜区新港 8-2

オリエンタル酵母工業株式会社

千葉工場 品質管理室

検 体：2009年4月分

分 析：Eurofins Scientific社

*印は、社内分析による。

検 査 項 目	検 体			定量限界
	CRF-1, CRF-1粉末 Lot 090407	DS-A Lot 090422	TC-1 Lot 090406	
鉛	0.10	0.14	0.05	0.05 ppm
カドミウム	0.07	0.12	0.02	0.01 ppm
ヒ素 (Asとして)	< 0.10	0.52	< 0.10	0.10 ppm
総クロム	* < 0.5	2.5	1.5	* 0.5 ppm
総水銀	< 0.005	0.005	< 0.005	0.005 ppm
亜硝酸根	* < 0.3	* < 0.3	* < 0.3	* 0.3 ppm
アフラトキシンB ₁	0.6	0.3	0.9	0.1 ppb
アフラトキシンB ₂	0.1	< 0.1	0.1	0.1 ppb
アフラトキシンG ₁	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1 ppb
アフラトキシンG ₂	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1 ppb
総PCB	< 0.07	< 0.07	< 0.07	
PCB IUPAC 28	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 52	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 101	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 118	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 138	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 153	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
PCB IUPAC 180	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
γ-BHC	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
アルドリン	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
ヘプタクロル	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
ディルドリン	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
DDT及び代謝物(総計)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
DDT,p,p'-	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
DDD,p,p'-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002 ppm
DDD,o,p'-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002 ppm
DDE,p,p'-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002 ppm
DDE,o,p'-	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002 ppm
DDT,o,p'-	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001 ppm
パラチオン	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
馬拉チオン	0.02	< 0.01	< 0.01	0.01 ppm
余 白				

微生物検査報告書

No. 09G01-005

(全 3 頁の 3)

〒261-0002

千葉県千葉市美浜区新港 8-2

オリエンタル酵母工業株式会社

千葉工場 品質管理室

検 体： 2009年4月分

実施方法： 社内試験規格

単位 (個 / g)

検 査 項 目 検 体	一般生菌数	大腸菌群	サルモネラ	真菌類	
MF・MF粉末 Lot 090416	5.2×10^3	(-)	(-)	10個/g以下	
NMF 090423	1.6×10^3	(-)	(-)	10個/g以下	
CRF-1・CRF-1粉末 090407	4.8×10^4	(-)	(-)	10個/g以下	
CR-LPF・CR-LPF粉末 090407	2.8×10^3	(-)	(-)	10個/g以下	
RC4 090422	4.1×10^5	(-)	(-)	10個/g以下	
LRC4 090410	5.2×10^4	(-)	(-)	10個/g以下	
GOC4 090416	3.7×10^4	(-)	(-)	10個/g以下	
DS-A 090422	6.7×10^2	(-)	(-)	10個/g以下	
PS 090403	100個/g以下	(-)	(-)	10個/g以下	
MP 090427	3.3×10^4	(-)	(-)	10個/g以下	
TC-1 090406	300個/g以下	(-)	(-)	300個/g以下	
以下余白					
記					
事					

